資料5－1

ここ3年以内に発生したヒヤリハット事例　及び　入力シート（案）

## 【令和3年度】 学校給食における食物アレルギー　ヒヤリハット報告

※原因食物を摂食していない、原因食物に触れていない場合　→　ヒヤリハット報告のシートに入力

※原因食物を摂食した、原因食物に触れた場合　→　事故報告のシートに入力

| No. | 月 | 日 | 曜日 | 時間 | 小学校 | 中学校 | 調理場 | 内容 | 原因分析、今後の対策 | 気付けた場面 | | | 原因 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 調理時 | 受渡し時 | 教室 | 教職員の確認不足 | 本人の知識・認識不足 | 保護者の確認不足 | 組織の体制不足 | その他 | |
| 1 | | | | | ○ | | | 記入漏れの多い保護者がおり、給食時間に、担任から確認の内線が入ることがある。 | ・「除去食なし＋家庭からの代替食なし＝食べられる」と思っている児童もいるので、「食べない」という記入も忘れないよう、保護者への周知が必要。<br>・もりつけ表のほかに、アレルゲン一覧表や1週間献立表も教室に置き、すぐに確認できるようにした。 | | | | | | ○ | | | |
| 2 | | | | | ○ | | | 月末までに、翌月のもりつけ表に記入して提出してもらわなければならないが、提出が遅れる保護者がおり、月初めの確認が不十分になる。 | | | | | | | ○ | | | |
| 3 | | | | | ○ | | | 事前確認の書類に代替食持参の記入が漏れており、当日も気づかず、食べるものがないということがあった。 | 前日までにもう一度、書類を確認し、記入漏れがないか確認する。 | | | | | | ○ | | | |
| 4 | | | | | ○ | | | 卵の除去食の入った専用容器を担任が当該児童の机に配っていたが、本人が通常食の配膳の列に並んで、通常食も受け取っていた（新一年生）。 | ・児童自身の理解が不十分なため、食べ始める前にもう一度担任が確認する。<br>・児童には、除去食の容器をそのメニューの食器に入れて提供し、その食器に入っている通常食は絶対に取りにいかないように指導する。<br>・当番の児童にも呼び掛けて、クラス全体で気を付ける。 | | | ○ | | ○ | | | | |
| 5 | | | | | | | ○ | 炊き込みご飯に入れるはずの油揚げを、間違って汁に入れた。大豆アレルギー児がいなかったため、管理職と相談して、そのまま提供した。 | 調理員は、確実に、その日の献立・食材を把握するとともに、栄養教諭等への報告・連絡・相談を行う。 | ○ | | | ○ | | | | | |
| 6 | | | | | | | ○ | 卵の除去食を、アレルゲンの異なる同姓の児童（えび・いか・かに）に配送した。その児童は除去食を喫食した。<br>本来の対象児童は分散登校で休みだったため、除去食が食べられなかったという事態には至らなかった。 | ・容器の名前はフルネームで記載しているが、配食時の確認を名字だけで行ったために間違えた。今後は、フルネームで確認する。<br>・アレルゲン別に色分けしたテープを貼り、アレルゲンが明確に分かるようにした。<br>・受配校では、児童の名前とアレルゲンのテープの色を確認して手渡しするようにした。<br>・職員会で報告し、教職員が児童のアレルゲンを十分把握するよう共通理解を図った。 | | | ○ | ○ | | | | | |
| 7 | | | | | ○ | | | 菓子を食べて発症するが、かかりつけ医では原因が分からず、医大でも分からなかった。症状が出たら受診するよう言われている。エピペン所持。 | 詳細献立表を毎月配布し、給食に出てくる食品は事前に家庭で食べてもらうよう依頼。1年経過するが、この対応でいいのか不安。 | | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

資料５－２

ここ3年以内に発生した事故事例　及び　入力シート（案）

**【令和3年度】 学校給食における食物アレルギー　事故報告**

※原因食物を摂食していない、原因食物に触れていない場合　→　ヒヤリハット報告のシートに入力

※原因食物を摂食した、原因食物に触れた場合　→　事故報告のシートに入力

| No. | 月 | 日 | 曜日 | 時間 | 小学校（学年） | 中学校（学年） | 原因食物 | 内容 | 原因分析、今後の対策 | 発生した場面 | | | 原因 | | | | | | | | | | 備考<br>その他の内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 給食中 | 給食片付け | 給食後 | 調理場での作業ミス | 配膳室での受渡ミス | 教室での誤配膳 | 初発 | 運動誘発（疑い） | 教職員の確認不足 | 保護者の確認不足 | 本人の知識・認識不足 | 組織の体制不足 | その他 | |
| 1 | | | | | 3年 | | カシューナッツ | カシューナッツのアレルギーがある児童がミックスナッツを食べて、アナフィラキシーショックを発症し、学校でエピペンを打ち、救急搬送した。<br>いつもは、カシューナッツが入っていないが、今回はカシューナッツが入ったものが契約されたため、保護者も見落としていた。 | ・定番のもので、アレルゲンのある物資は、年度途中で変えないよう、市教委から物資購入委員会で周知。<br>・もりつけ表にチェック漏れがあったとしても、担任が気付けるよう、対象児のアレルゲンを書く欄を作った。<br>・詳細献立表において、アレルゲン28品目を含む食材の横に〇印をつけ、保護者の見落としを防ぐ。<br>・栄養教諭が、保護者が記入したもりつけ表をチェックする。<br>・チェックミスを防ぐため、アレルゲン一覧表の電子データを保護者に送付。 | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | 物資選定 |
| 2 | | | | | ○年 | | | 保護者が見落としており、担任も気づかず、児童が誤食してしまい、救急搬送され入院。 | 保護者、担任に加え、養護教諭も確認をすることにした。 | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | |
| 3 | | | | | | ○年 | 卵 | デザートには卵を使用していないと思い込み、卵使用のプリンを食べ、かゆみを発症。 | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | ○ | プリンは3種類ある（豆乳プリン、牛乳プリン、鉄強化プリン） |
| 4 | | | | | ○年 | | 魚 | 低学年の児童が、代替食を持参していたが、通常食（まぐろのソテー）を配膳し、少量食べてしまった。保護者に連絡し、少量なら大丈夫と確認した。 | クラスでの対応を再確認した。 | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 5 | | | | | ○年 | | 乳 | チーズ入りスパゲッティの日、もりつけ表には「代替食持参」と記入され、当日も「そのメニューは食べない」と記載したプリントを担任に配布していたが、見逃して配膳してしまい、少し食べてしまった。 | 養護教諭から、調布市の事故について話をしてもらい、もりつけ表と、毎日配布するプリントの確認を、担任だけでなく補欠で入る先生方にも説明し、共通理解を図った。 | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | |
| 6 | | | | | ○年 | | 乳 | 乳アレルギーがあるが、パンは食べられるので食べていた児童が、昼休みに運動した後、かゆみが出た。 | 運動によって発症したかもしれないということで、パンの摂取を中止した。 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| 7 | | | | | ○年 | | アーモンド | 学校生活管理指導表には、アーモンドアレルギーと記載されていたが、保護者から食べられるようになったとの申し出があり、数年提供していたが、かゆみが出た。 | アーモンドの摂取を中止 | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | ○年 | | 卵 | うずら卵を教室で除去している児童が、誤って食べてしまった。体調に影響はなく、保護者も念のための除去なので大丈夫とのことであった。 | 担任と再確認した。配膳の児童にも呼び掛けて、クラス全体で気を付ける。 | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| 9 | | | | | | 3年 | 里芋 | 里芋を自分で除去している生徒が、しっぽくうどんの里芋を口に入れてしまった。生徒がすぐに担任に報告し、担任は養護教諭に連絡し、様子を見た。 | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 10 | | | | | ○年 | | | 間違えて配られていて、本人も気づかず食べてしまった。 | ・担任及び給食時間に入る教員とで気を付ける。<br>・保護者に、本人に給食のことをきちんと話してもらうよう依頼し、本人にも毎日、自分の献立表をチェックするよう、再度指導した。 | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| 11 | 4 | | | | ○年 | | | 年度初めの4月、担任がチェックを見落とし、低学年児童が配られた給食を食べてしまった。皮膚のかゆみを発症。保護者に来校してもらった。 | 担任に、確実に確認してもらうよう伝えた。<br>児童にも、食べられない時はそのことを伝えるよう指導したが、特別支援学級の児童で、デザートを自分で取りに行くこともあり、目が離せない。 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | 1年 | | えび | エビピラフの代替食を持ってくるのを忘れたため、担任が保護者に連絡中に、給食当番が通常食を配膳し、食べてしまった。症状は出なかった。本人いわく、家では練習で食べているので食べたとのこと。 | 児童には、学校では食べないように保護者からも伝えてもらった。<br>クラス全体にも指導。アレルギー児の名札が食缶に貼られているときは注することを伝えた。 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |